

経済指標ウォッチャー

2021年7-9月期米国実質GDP成長率 伸び率が鈍化

供給網の混乱の解消が今後の米国経済のカギとなる

GDP（国内総生産）とは？

Gross Domestic Productの略で、国内において一定期間内に新たに生産されたモノやサービスなどの合計金額。その国の経済力の目安に用いられる。

前年同期や前期と比べ、どのくらい増加（減少）したのかを見ることで、国内の経済成長を推定することが可能となる。GDPの増減率を%で表したものを『GDP成長率』と呼ぶ。

2021年第3四半期GDPは前期比年率2.0%増

米国商務省が10月28日に発表した、2021年7-9月期の実質GDP（国内総生産）成長率（季節調整済み、速報値）は、前期比年率2.0%増となり、事前予想の同2.6%増を下回りました。5四半期連続のプラス成長となったものの、4-6月期の同6.7%増から伸び率は大幅に鈍化しました（図表1）。

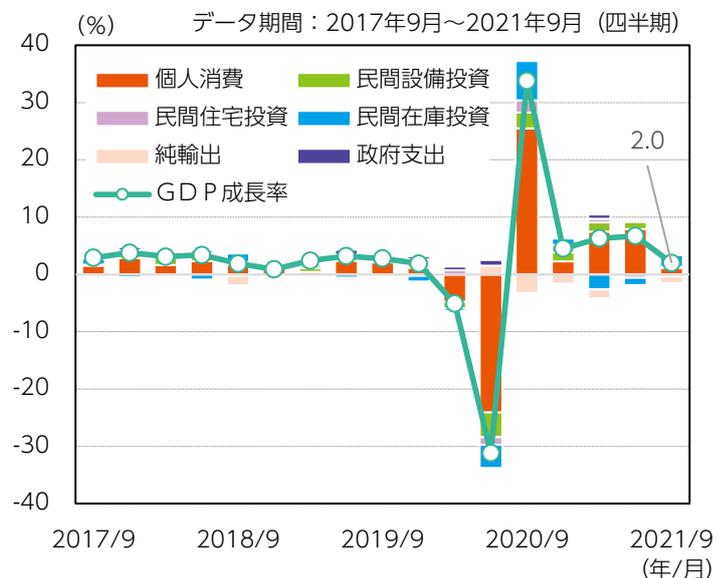
追加経済対策やワクチン接種の進展等により、2021年に入り2四半期連続で同6%を超える大幅な上昇となっていました。供給網の混乱などにより回復ペースが大きく鈍ったものと思われます。

個人消費、設備投資の伸びが鈍化

項目別寄与度では、政府からの現金給付等の支援を受け、1-3月期、4-6月期の米国GDPの伸びをけん引した個人消費が前期比年率1.6%増と前期の同12.0%増から大幅に縮小しました。さらに、資源高や供給網の混乱により先行き不透明感が高まったことなどから、企業の設備投資も同1.8%増と前期の同9.2%増から縮小したことが、GDP成長率の伸びの鈍化に影響しました。一方、伸び率は鈍化したものの、金額ベースで見た実質GDPはコロナ前の2019年10-12月期の水準を上回っており、日本や欧州と比較すれば回復は進んでいます（図表2）。

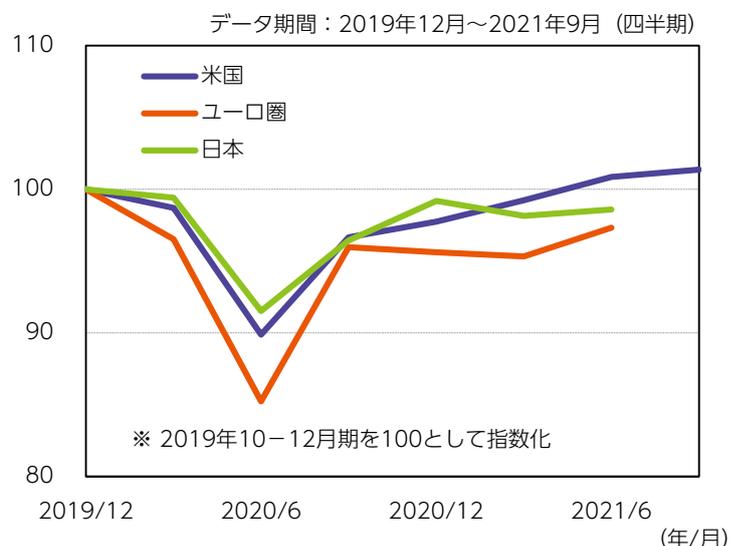
足元で供給網の混乱による物価高騰が続いています。物価高騰により個人消費がさらに落ち込むことも懸念されます。供給網の混乱が落ち着けば、物価高騰も一服するとみられ、供給網混乱の解消が今後のGDP成長率のカギを握るものと思われます。

図表1：実質GDP成長率の推移



※米国実質GDP成長率（前期比年率）と項目別寄与度の推移

図表2：日米欧の実質GDP（金額）の推移



※ 実質GDP（金額）の推移（季節調整済み）
ユーロ圏と日本は2021年4-6月期まで

出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>